

<第6節終了時点順位表>

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	筑波大学	4	0	2	12	3	+9	14
2	駒澤大学	3	2	0	20	6	+14	12
3	流通経済大学	4	2	0	14	11	+3	12
4	国士館大学	3	1	2	12	7	+5	11
5	順天堂大学	2	3	1	13	17	-4	7
6	東京学芸大学	2	4	0	7	11	-4	6
7	中央大学	1	4	1	5	20	-15	4
8	亜細亜大学	0	4	2	6	14	-8	2

★得点ランキング★

7ゴール	原一樹(駒大)
5ゴール	兵働昭弘(筑波大)
	鴨川奨(順大)
4ゴール	赤嶺真吾(駒大)
	多田源一郎(順大)
	杉本恵太(流経大)

★アシストランキング★

5アシスト	藤本淳吾(筑波大)
3アシスト	赤嶺真吾(駒大)
	小宮山尊信(筑波大)
	養父雄仁(国士大)
2アシスト	秋田政輝(筑波大)
	船山祐二(流経大)

ほか3名



右サイドでの出場は初めての塚本。場数をこなせばレギュラー獲得も夢ではない



今季初の無得点試合となつてしまった駒大。赤嶺(左)も守備に徹せざるを得ない場面が目立った

5月15日 14:10 埼玉スタジアム2002第2グラウンド

駒大 0(0-0) 1 国士大 (2位・12) (0-1) (4位・6)

得点者(アシスト)

【国】81分:養父雄仁 1 (本田洋一郎 1)

KOMAZAWA	KOKUSHIKAN
GK⑩太 洋一(4)	GK①吉岡広介(4)
DF④小林 亮(4)	DF②橋本尚樹(4)
DF⑤鈴木祐輔(4)	DF④竹内 彬(3)
DF②桑原 靖(3)	DF⑤片岡洋介(4)
DF⑬筑城和人(2)	DF③片山奨典(3)
MF⑥中後雅喜(3)	MF⑬柴崎晃誠(2)
MF⑯新川真之介(2)	MF⑯養父雄仁(2)
(64分)⑩小林竜樹(1)	MF⑦土屋貴啓(3)
MF⑭塚本泰史(1)	MF⑩清水康也(4)
(84分)⑩船山 翼(2)	MF⑩金子央朋(4)
MF⑭八角剛史(1)	FW⑪小比賀慎(4)
(52分)⑩関 光博(4)	(59分)⑩本田洋一郎(3)
FW⑯小野里銀児(1)	S U B
FW⑨赤嶺真吾(3)	GK①金子芳裕(4)
S U B	DF⑯杉森陽介(2)
GK①牧野利昭(3)	DF⑯佐藤博昭(1)
DF③大澤陽介(4)	DF⑯小林公平(2)
DF⑬廣井友信(2)	MF⑯久保田慎也(1)
DF⑯菊地光将(1)	MF⑯山下亮介(1)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	細田三二

警告(C)/退場(S)

【駒】8分:小野里銀児(C)、52分:赤嶺真吾(C)

89分:小林竜樹(C)

【国】1分:養父雄仁(C)、54分:金子央朋(C)

85分:橋本尚樹(C)

【シュート】7:10【枠内シュート】2:3【決定機】8:6【CK】7:15

【CK】3:0【FK】0:0【直接FK】20:15【間接FK】5:6【OS】4:6

【主審】牧野明久【観衆】約500人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機は本誌記者による記録です

第7節展望

筑波大との天王山!!

次節は宿敵・筑波大との天王山。勝ったチームがリーグを首位で折り返すという両者負られない試合だ。

筑波大注目の選手はやはり鳴り物入りで入学した怪物・平山相太。また、鋭い突破を武器とする現在5アシストでアシストランキング1位の藤本淳吾(写真)の存在も無視できない。筑波大の強力オフェンス陣を駒大ディフェンス陣が同封じするか、目が離せない一戦である。5月23日、勝利の女神は果たしてどちらに微笑むだろうか。



【右】怪我から復帰した関。何度かチャンスを作る場面が見られたが本人は「戦えていない」と反省しきりだった【上】公式戦初出場となった船山。身体能力の高さを垣間見せた



基本フォーメーション



しまうという悪循環。そしてついには最悪の事態を招いてしまう。81分、またも清水が起点となり鋭いドリブルから左のスペースに走りこんでいた本田へ。本田が折り返したグラウンダーのクロスを養父に決められ国士大の先制。駒大はその後、長身の船山を投入し反撃を試みるが、一度かみ合わなかった歯車は一向に修正できなかった。

試合後、「個人個人の気持ちの緩んだ部分が直しきれなかった」と鈴木祐は振り返った。開幕戦の敗北から気持ちの面で妥協してはいけないことを常に意識してきたはずである。しかし、またしても同じ過ちをくり返してしまった。

この敗戦で筑波大に首位を明け渡ししてしまった駒大。次節はその筑波大との直接対決。勝てば首位でリーグを折り返すことが出来る。「次の試合、勝つのは使命」(鈴木祐)。勝つことしか許されない試合にむけて選手一人一人が再び浮上した気持ちの面での課題をどう克服していくか。そこにこれからの命運がかかっている。(関 翔一)